

風"s・風のたよりオンライン版

2001/11/5 No.58

風のたより58号

今年の文化の日11月3日は雨でした。自然にたいして確率を唱えても....ね!

その日、お店に大きなローラーの付いた黒いスーツケースを引っ張った女性がにこっと挨拶をされた。この日のお話をする國行敬子さんとわかるまでにちょっと時間がかかった。30分ほど早く到着だったので迎える心の準備まで行っていなかった。

写真で拝見していたけれど、結びつかなかった。たくましそうでした(ごめんなさい)。雨のなか、この日「文化のみち」のイベントで古い家のレストランがランチを特別に出すということで、二人で話しながらでかけました。

■「文化のみち」企画、故春田鉄次郎邸でパスタ

日本の家屋が愛おしく感じる私はやはり50代という年代だからでしょうか？ マンションの新しい間取りやハイカラ(なんと古い言い方)な部屋の写真になんの未練も感じられない。黒光した柱や床のほうがいい。...という私の趣味に國行さんをお連れして、打ち合わせしがてらの昼食となった。

彼女は小さい頃から海外生活(先進国のよう...)の経験はあったようで、バン格拉デシュでの生活も「何かつらかった？」と聞かれても思い浮かばない所を見るととけ込んで生活をしていたのでしよう。

これから結婚する女性に、結婚して28年の私の話は、ちょっとバラ色のその先を語ったような...そんな会話もあったりして、会場の「ウィルあいち」に戻りました。

■緑のサリーで登場!

民族衣装はいいですね～。アンケートにもありましたが美しかったですよ。サリーを着てオスマシとは行かず、スライド映写機の手配したり、机の配置にも気を配ったりと躍動するサリー姿でした。18日間のキャラバンツアーを一人でこなしてきた彼女も、本日が最終日です。地図を広げバン格拉デシュの位置、歴史などを紹介したあとスライド上映。

■バリ「バングラデシュの同族家族が住む敷地」のワークショップ

10人ほど3組に分かれ(な〜〜んと29名参加)、ボランティアの人達の手になるバリワークショップのピースが渡され、敷地の台紙に生活用品や家、木、乗り物、動物.....いろいろなピースを想像して置いて行きます。はじめに簡単な自己紹介をした後、みんなで相談しながら配置しました。

■なんだかわからないピースも...

「かまど」の絵がちょっとわかりづらかったかな? 「排水ポンプ」これも難解でしたね。不用なピースを除くことも肝心な事です。車や電化製品がありましたね。すでにバングラデシュに行った人もいたので「ぶた」さんはいらないと皆さんに伝えていました。

■みんなでそれぞれのバリを覗く

わいわい言いながら、拝見するのもまた楽しい!

井戸が果たして二つもあるのかしら? と他のバリを見た人が、実は自分たちのバリにも二つ配置してあったりして.....。実際は、40人に1つくらいの井戸の配置をシャプラニールは目指しているそうです。

■シャプラニールの成り立ち

1972年に「バングラデシュへの復興農業奉仕団」に参加した人達から出発したシャプラニール。その前身は「ヘルプ・バングラデシュ・コミティ(HBC)」。

その後、ポイラ村で駐在員が村人に襲われ重傷を負い、一度は撤退したものの、3年後に村人の手による「ショミティ」をサポートする形で再出発、紆余曲折を経て来年30周年という長い歴史を説明。

■女性や子どもの目から見たバングラデシュは...?

.....までは実は行き着かなかったような.....。文化の違い、生活の違い、そこから互いの理解が始まるのでしょうか。入口で終わった感じもします。でも、バングラデシュを知る大切な入口に案内して頂きました。左臂を机につき、右手三本指をつかっただけの食事の様子や、椅子ではない座したときの膝をたて食する様子など彼女の熱演もありました。

終わりに「お互いが知り合えないからあらそいがおこる」「できることからする」というまとめで今回は2時間が過ぎました。

■戦争はいつも弱い立場の人を破壊しつくす.....

彼女が村を回って戦争を経験した人の話を聞く機会もあったそうですが、あまり話たがらなかったため、無理には聞かなかったということです。つらいことは思いだすだけでもつらくなるのでしょうか。そんなつらい戦争が今この時間にも起きている。新たな地雷が埋まる。力ある人が戦争を仕掛け、力無い人はおびえ逃げるだけ。街も心も破壊し尽くし、そのころの傷を取り戻すのに何世代もかかるというのに.....。

■日頃の関心や、知り合うこと、そして伝えること

ちょっと押したら、ぷしゅっ、ぷしゅっ、ぷしゅっ、ぷしゅっ、ぷしゅっと世界を駆けめぐり、また自分のところに戻ってくる。環境問題も、食料問題も、宗教や政治のことも、めぐりめぐりその果ては自らに.....。国際理解とか環境教育とかお題は唱えれど、どこまで自分の身に引き寄せて考えることができるか、そのきっかけは何だろう?無関心が加害者になっていることもあること、こころしなければと思います。

■アンケートを紹介します

参加者29名/アンケート回収23名(うちシャプラニール会員8名)

20代:女性7名・30代:女性4名男性1名・40代:女性3名男性1名・50代:女性5名男性2名

この日の朝日新聞に大きく「フェア・トレード」の記事が取り上げられていました。アンケートでも、すべての人がフェア・トレードをご存じでした。アンケートは[こちらのページ](#)にあります。
